

何のために働くか、社会で何が求められるか



1 製造業の仕事とは



SUBARUの仕事は、大きく分けて**直接部門**と**間接部門**に分かれます。直接部門はクルマの製造など売り上げに直接関わる仕事を担当し、間接部門は主に製造業務や働く社員を支援する仕事を担当しています。それぞれの専門性により採用条件が異なります。

各職種の業務内容と主な採用条件

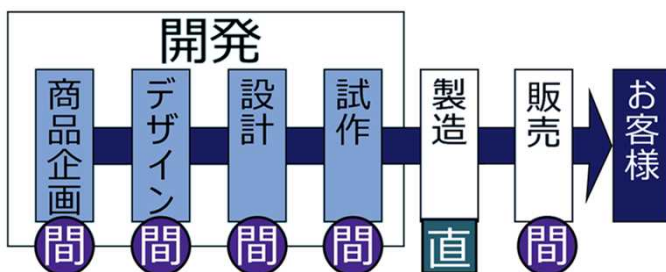
直接部門（製造業務）

職種	業務内容	主な採用条件
技能職	主に製造を担当する	主に高校卒

間接部門（製造や社員を支援する業務）

職種	業務内容	主な採用条件
事務職	働く社員の支援・調整を行い生産性を高める	主に文系の四年生大学もしくは大学院卒
技術職	製品の研究・開発を担当する	主に理系の四年生大学もしくは大学院卒

クルマができるまでの流れとその担当部門



左図はクルマができるまでの流れです。それぞれの仕事に、担当する部門の記号を示しています。

直 → 直接部門の担当

間 → 間接部門の担当

間接部門は製造以外の多くを担当しています。また、商品の企画が始まってから、お客様の元に届くようになるまでに約4～5年かかります。

2 何のために働くか



SUBARU社員に、直接・間接部門別でお金を稼ぐこと以外での「**仕事のやりがい**」について聞いてみました。

「仕事のやりがい」アンケート結果

直接部門（製造業務）

順位	仕事のやりがい	割合
1	仕事の成果を認められること	41.7%
2	自己の成長を認識すること	29.2%
3	後輩・部下の成長を感じる	8.3%
3	興味のある仕事をする	8.3%
5	社会に貢献する実感を得る	4.2%

間接部門（製造や社員を支援する業務）

順位	仕事のやりがい	割合
1	仕事の成果を認められること	26.5%
2	社会に貢献する実感を得る	16.3%
3	自己の成長を認識すること	14.3%
4	お客さまにお礼や感謝される	10.2%
4	新しい仕事にチャレンジする	10.2%

仕事内容が異なっても、「仕事の成果を認められること」や「自己の成長を認識すること」にやりがいを感じる社員が多いことが分かりました。みなさんが、褒められたり認められたりすると「また頑張ろう」とやる気が湧いてくるのと同じです。また、「後輩・部下の成長」や「社会貢献の実感」など、仕事を通じ他者の役に立つことに価値を感じている社員もいることが分かります。

「仕事のやりがい」についてのコメント

自分の意見・アイデアが織り込まれた製造過程を経て、完成したクルマを見たときは自分の仕事に誇りをもつことができました。

（仕事の成果を認められること@直接部門）

クルマを作る機械の設備保全をやっています。勉強の日々ですが、原因究明から全て自力で修理できた際などは、自己の成長を感じられて嬉しいです。

（自己の成長を認識すること@直接部門）

人と組織を成長させ、パフォーマンスを最大限に上昇させることで、会社に関わる全ての人に笑顔を届けることが私の仕事だからです。

（社会に貢献する実感を得ること@間接部門 管理職）

新しいことにチャレンジすると、今までと違った見方で物事を見ることができます。新しい発見をすることもあり、仕事が楽しく感じます。

（新しい仕事にチャレンジすること@間接部門）

3 社会で何が求められるか



SUBARU社員に、直接・間接部門別に「求められる資質・能力」について聞いてみました。

「求められる資質・能力」アンケート結果

直接部門（製造業務）

順位	求められる資質・能力	カバー率
1	コミュニケーション能力	83.5%
2	責任感	58.3%
3	積極性	50.2%
4	協調性	37.5%
5	専門性	24.9%

間接部門（製造や社員を支援する業務）

順位	求められる資質・能力	カバー率
1	コミュニケーション能力	85.7%
2	責任感	36.7%
3	協調性	32.7%
4	積極性	28.6%
5	言葉遣い&マナー	26.5%

※一人三つの資質・能力を挙げてもらっています。「カバー率」とは、その資質・能力を挙げた社員の割合です。

求められる資質・能力のうち、カバー率の高かった上位4項目は、職種に関係なく同じような内容となりました。これはどのような仕事でも「他者と協力し、主体的に行動して役割を全うする」ことが共通して求められているからかもしれません。そのため、他業種でも上位は同じような結果となりそうです。上位4項目は、将来に働くことを見越して今のうちから意識を高めておきましょう。

「求められる資質・能力」についてのコメント

仕事を進めるには他の人の協力が必要不可欠です。業務をスムーズに進めるためにも、コミュニケーション能力は必須です。
(コミュニケーション能力・責任感・積極性@直接部門)

私は品質管理の仕事のリーダーを担当しています。他部署とのコミュニケーション（情報のやりとり）が欠かせません。SUBARUの品質を担っているため、責任感が無いと務まりません。
(コミュニケーション能力・リーダーシップ・責任感@直接部門)

色々な考えをもったメンバーと一緒に仕事を進めるにはコミュニケーションを図ることが大切です。よりよい考えを導くことができます。
(コミュニケーション能力・リーダーシップ・責任感@間接部門)

人事採用を担当していますが、人と話す機会が多いのでコミュニケーション能力は必要です。また、派遣社員などの外部との関わりがあるので、専門性知識と言葉遣い・マナーも大切です。
(コミュニケーション能力・言葉遣い&マナー・専門性@直接部門)

4 将来を見据え高校生活をどのように取り組むか



学校生活の様々な場面において社会で求められる資質・能力を高める事ができます。上記3で、職種を問わず多くの社員が挙げた上位4項目（**コミュニケーション能力、責任感、積極性、協調性**）について、学校生活のどのような場面で高められるか例を挙げました。学校生活の全ての活動を成長のチャンスと捉えて主体的に取り組みましょう。

授業で育む「コミュニケーション能力」



社会では様々な地域や世代の方々との意思疎通を図る必要があります。語学力を含めた知識は円滑なコミュニケーションに必須なツールです。どのような授業も全力で取り組みましょう。また、グループワークの際は班員の意図を正しく汲み取り、自分の意志を的確に伝えるよう心掛けましょう。

係・委員会活動で身に付ける「責任感」



学生時代に社会人のような責任を問われる場面に遭遇することはなかなか難しいですが、与えられた役割を果たすという点で、係・委員会活動はよい経験になります。所属する係・委員会では、各々がクラスの代表者です。自分のせいではないか減なクラスと思われたいよう、しっかりと役割を果たしましょう。

部活動で磨く「積極性」



心身共に充実し、知識・技能を最も容易に習得できるのが学生時代です。そのような時期に積極的に部活動に取り組み、そこで得られた様々な体験が後の社会人生活にも生きていきます。部活動でしかできない経験をより多く積むためにも、チャレンジ精神を忘れず取り組みましょう。

学校行事で高める「協調性」



球技大会、体育祭などのクラス対抗の学校行事では、まずは自分自身が全力で取り組むことを大切にしましょう。また、頑張っているクラスメイトを一生懸命に応援しましょう。クラスの一員として、自分のできることで精一杯にサポートする行動は、組織で動きチームワークを大切にする社会でも役立つはずですよ。

5 未来を担う高校生へ



最後に社員から頂いた高校生へのメッセージと、SUBARUや群馬県が未来を見据えて育成したい人材について紹介します。近い将来に、みなさんの多くが社会に出ることになるでしょう。この内容を参考に、高校生のうちからできることを考え、社会生活に向けた準備を始めましょう。

社員から高校生に向けたメッセージ

サラリーマン（組織人）になるならば、部活動等の集団的な活動が会社に入った後に生きてきます。学びは学生では終わりません、社会に出てからも学ぶことは続きますよ。

(直接部門@エンジン組立担当)

返事や挨拶など、人として当たり前のことを当然にできるように学校で実践しておきましょう。「我が社にあなたが欲しい！」と思わせるような人間性を今のうちから育ててください。

(直接部門@機械保全担当)

「なぜ？」という疑問を常にもち続けることが大切だと思います。それが相手の立場で物事を考えるきっかけとなったりして、スムーズなコミュニケーションにつながります。

(直接部門@車体塗装担当)

どのような仕事でも必ずコミュニケーションやマナーなどは必要となってきます。今の自分には関係ないと思わず、学生のうちから身に付けておきましょう。

(直接部門@車体溶接担当)

入社すれば全員が平等のスタートラインです。仕事では勇気をもちチャレンジすることが自身の成長につながります。職業選択には悩みが尽きないと思いますが、自分が成長できそうな場所を見つけてほしいと思います。

(直接部門@車体組立担当)

働くとなると組織として行動する事が多くなります。上司、リーダー、先輩、同僚、後輩等、様々な方々と、接する場面が出て来ますので、高校時代に集団生活へしっかり対応出来るスキルを身に付けておく事を勧めます。

(間接部門@出向者支援担当)

どのようなときに自分の心が動くのか、高校生活の中でよく観察してみてください。「好きなこと」だけでなく「大切にしたいこと」が見えてくると思います！

(間接部門@福利厚生担当)

生きていくために働くということはとても大事なことです。どうせ働くなら「人のためになりたい」と思い私は働いています。

(間接部門@社内安全担当)

学校で学ぶ数学をそのまま使うかどうかは仕事によりけりだと思います。しかし、勉強の中で用いる論理的思考力や、学校生活を通して身に付けるコミュニケーション能力は社会人となって働く際に絶対に役立ちます。

(間接部門@人事制度担当)

医療職は、高校を卒業してからが本番になります。進路のための基礎学力が大事だと思います。年代や出身地などで様々な価値観をおもちの方と話すなど、様々な人とコミュニケーションを取ることが大事かと思えます。

(間接部門@社内病院の保健師)

未来を見据え育成したい人材

SUBARUは変動著しく予測困難な未来を、逞しく生き抜くことのできる人材育成に力を注いでいます。

自律協働 型人材

意味

主体的にやるべきことを見いだして、上手に周囲を巻き込みながら、課題解決に向け取り組むことのできる人材のことです。

じりつきようどう がたじんざい

背景

自動車業界は、電気自動車化・自動運転化・カーシェアリング等、クルマの概念が覆る程の大変革期にあると考えられています。

群馬県が育成したいと考える人物像の始動人(しどうじん)もSUBARUと同様に主体性を重要視しています。

始動人

意味

自分の頭で考え、他人が目指さない領域で動き出し、生き抜く力を持つ人

しどうじん

位置付け

群馬県の総合計画の中で打ち出された教育施策コンセプトです。

6 研修先企業の紹介



株式会社SUBARU

ありたい姿 … 笑顔をつくる会社

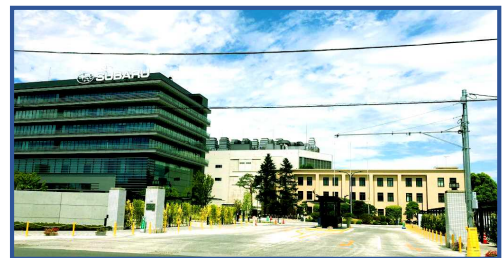
提供価値 … 安心とゆしさ

経営理念 … “お客様第一”を基軸に「存在感と魅力ある企業」を目指す

- (1) 本社所在地：東京都渋谷区恵比寿1-20-8 エビスバルビル
研修先所在地：群馬県太田市スバル町1-1
- (2) 設立：1953年7月（創業：1917年5月）
- (3) 資本金：1,537億円(2022年3月31日現在)
- (4) 従業員数：16,961名(2022年3月31日現在)
- (5) 2022年度 群馬事業所高校生採用実績：275名
- (6) 事業内容：

自動車(自動車ならびにその部品の製造、修理および販売)

航空宇宙(航空機、宇宙関連機器ならびにその部品の製造、販売および修理)



研修員 群馬県立西邑楽高等学校 栗原 昭久